

# 令和3年度 第2次募集の選抜・評価方法

## 学校番号 定7

### 千葉県立松戸南高等学校 三部制の定時制の課程 普通科

#### 1 期待する生徒像

本校を志願する動機及び理由が適切であり、自分の将来に向けて目的意識を持って学習及び学校生活に意欲的に取り組む者で、本校で主体的に学ぶ能力及び適性を有し、次のア及びイの要件を満たすもの。

ア 三部制の定時制の特性を踏まえ、自己実現に向けて有効に時間を活用する意欲があること。

イ 二学期制及び単位制の利点を生かし、主体性を持ち、学習に取り組む意志があること。

#### 2 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 学校設定検査(面接)	受検者1名・評価者2名の個人面接
(3) 学校設定検査(小論文)	検査時間40分・字数301字以上600字以内
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

#### 3 評価項目及び評価基準

##### (1) 調査書[135点満点]

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。
イ 出欠の記録	① 皆勤、精勤(3年間で3日以内の欠席)は、総合的に判定する際の参考とする。 ② 長欠等については審議対象としない。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動及び部活動の記録	生徒会活動で、特に積極的に取り組んだと認められる記述について、審議の中で評価する。
オ 総合所見	問題となる点があれば、審議の対象とする。

##### (2) 学校設定検査(面接)[100点満点]

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組み合わせ(aa~cc)で得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望理由	志望動機が明確である。
イ 日常生活	日常の生活がきちんとしている。
ウ 規範意識	ルールやマナーをしっかりと守ることができる。
エ 面接態度全般	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 高校生活に取り組む姿勢として適切である。

##### (3) 学校設定検査(小論文)[50点満点]

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、アについてはb(過不足なし)・c(過不足あり)・d(無回答)の3段階、イについてはa(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価し、各評価者の評価の組合せごとに4段階(A~D)で評価する。3名の評価者による評価項目ごとの評価の組合せ(AAA~DDD)で得点化する。3名の評価の中にCが2つ以上又はDがある場合は審議の対象と

する。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容及び表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字・脱字や文法の誤りがない。

#### (4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願の理由	本校入学の意志について確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等について、総合的に判定する際の参考とする。

### 4 選抜方法

#### (1) 選抜の方法

「調査書の得点」及び「面接」と「小論文」の得点を合計した「総得点」により順位をつける。各選抜資料等について慎重に審議しながら、総合的に判定し、特に問題がなければ、定員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

調査書の得点	学校設定検査の得点		総得点
評定(K=1)	面接	小論文	
135点	100点	50点	285点

#### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。